

「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」開催について（案）

第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会

熊本は九州の中央部に位置し1871年鎮西鎮台の設置以降、熊本鎮台へ、1888年には対外戦争を想定した第六師団となり、熊本城を核として地域と結びつき「軍都熊本」を形成してきました。

1877年、国内最後の内戦である「西南戦争」では熊本城をはじめ、田原坂・高瀬・八代・人吉等と、県内各地で戦闘が繰り広げられました。熊本市北区植木町・玉名郡玉東町に残された官軍墓地や戦闘地域等は国史跡「西南戦争遺跡群」として指定され、近現代遺跡・戦争遺跡の調査保存や資料館展示を通し、地域づくりが進められています。

いっぽう県内では、戦後60年以降、県内各地に残された太平洋戦争期の戦争遺跡の調査・研究や保存活動を行い、合わせて航空遺産をはじめとする戦時資料の調査や展示活動等を通して、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」が進んできました。

この活動は熊本・八代・玉名・菊池・荒尾・人吉球磨・合志地域へとひろがり、連絡会議「戦争遺産フォーラムくまもと」として、戦後70年「平和のバトン展」での地域展示や「米軍資料から見た熊本空襲」講演会開催へと結実しました。

平成28年熊本を襲った未曾有の地震災害に直面し、隈庄飛行場油倉庫等の記録保存や戦争遺跡・遺物の被災レスキュー活動等を進めるなかで、全国の皆様方にご支援をいただき、改めて全国との連携の大切さを知ることとなりました。

今回、熊本で初となる本シンポジウムの開催にあたり、全国の戦争遺跡の保存現状や課題を明らかにしていきます。また地元で展開している「熊本に戦争と平和のミュージアム」設立にむけ、平和博物館活動を進めておられる皆様方と交流を深め設立に向け、前進したいと願っています。

平成28年度熊本地震から復興しつつある熊本の姿を肌で感じていただき、さらなる「心の支援」の広がりを願い、当地熊本で全国大会を開催いたします。

記

- 1 大会名 **第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会**
テーマ・キャッチフレーズ
「案1:戦争遺跡の保存・活用と平和の学びの継承」
「案2:戦争遺跡の保存・活用と平和資料館のあるべき姿」
「案3:戦争遺跡の保存・活用と災害からの復興」
- 2 開催期日 **平成31年8月24日(土曜日)～平成31年8月25日(日曜日)**
設営・準備 平成31年8月23日(金曜日)午後
開催日 平成31年8月24日(土曜日)～8月25日(日曜日)
8月23日(金) 午後は全国運営委員会
26日(月)は現地見学会
- 3 使用施設 **熊本市国際交流会館** 熊本市中央区花畑4-18
<http://www.kumamoto-if.or.jp/>
熊本コンベンション協会とは、各種助成・補助内容で申請済み
- 4 参加予定 **約250名**
- 5 主催者名 **第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会**
戦争遺跡保存全国ネットワーク
- 6 主会場予定内容
(1) 8/24日: 全体会・講演会場 「国際交流会館ホール」6・7階(230人定員)
(2) 8/25日: 分科会 ※すべて洋室仕様に変更
1分科会: 第1会議室・4階(45人)
2分科会: 第3会議室・4階(81人)
3分科会: 大広間A・Bの通し利用・4階(104人) ※閉会集會会場でも利用
図書交換会: 2会議室・5階(32人) ※10時～2時まで
事務局控室: 中会議室・5階(14人) ※23日(金)～25日(日)まで利用
- 7 全体会記念講演 「熊本城と第六師団(仮)」
猪飼隆明(いかい たかあき)・大阪大学名誉教授

8 現地見学会

(1) 8/26日(月) ※国際交流会館前より乗車・降車予定。

(2) 見学会コース ※午前：1コース、終日：1コース

□Aコース(9時～12時半頃) ※個人名簿一覧提出、昼食はなし

「熊本市内の戦跡をめぐる」熊本市立図書館「2019 夏の平和展“健軍飛行場”」、歩兵第十三聯隊食堂(現熊本学園大学第2体育館)、十三聯隊正門・軍用道路、三菱熊本航空機製作所第一組立工場(現西部方面総監部九州補給支処)、義烈空挺隊慰霊碑、陸上自衛隊戦史資料室

□Bコース(9時～15時頃) ※弁当申し込みで準備

「菊池飛行場と黒石原奉安殿をめぐる」旧逓信省熊本航空機乗員養成所奉安殿、空襲慰霊碑「留魂碑」、菊池飛行場ミュージアム、菊池飛行場内戦争遺構(給水塔・油倉庫・弾薬庫・格納庫 他)

9 情報交換会・懇親会

(1) 会場 KKRホテル熊本 「有明・不知火の間」

熊本市中央区千葉城町3-31 TEL096-355-0121

<http://www.kkr-hoteru-kumamoto.com/>

(2) 日時 8月25日(土) 夕方6時

(3) 会費 6000円

10 「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会」組織・関係団体等

(1) 実行委員長……堀 浩太郎さん(熊本大学大学院 教育学研究科)

(2) 実行委員会への参加組織 ～戦跡保存団体・個人・平和活動の関係団体への働きかけ～

□「戦争遺産フォーラムくまもと」を母体として

①熊本の戦争遺跡研究会

②人権NPO ちなもい

③花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会

④荒尾二造市民の会

⑤人吉・球磨の戦争遺跡を伝えるネットワーク

⑥合志の近代化遺産を学ぶ会

⑦平和憲法を活かす熊本県民の会・熊本空襲を語り継ぐ会

⑧くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

⑨個人参加の方々 三隅康資さん・上村真理子さん 他

□後援・働きかけ

⑩新老人の会熊本支部「戦争を語り継ぐ会」

⑪熊本被爆二世・三世の会

⑫学生団体「La Paix(ラペ)」

⑬「生活協同組合くまもと」平和委員会

⑭「連合熊本」平和部会

⑮自治労女性部会

⑯熊本県教職員組合・熊本県高等学校教職員組合・熊本市教職員組合

⑰学術団体(肥後考古学会、熊本史学会、熊本近代史研究会、熊本産業遺産研究会 他)

⑱その他 市民・県民の方々

11 協議事項 等

(1) 今後の協議事項等 ※3月までに決定

□どの様な開催スタイルが良いのか、熊本独自のカラーは……

西南戦争との接点、近代化遺産での軍事分野とは、第六師団、熊本地震での戦争遺跡復興、新たな戦争遺跡の観光地化、戦争・戦争遺跡の商品化 他

□見学会アウトラインの協議

(2) タイムスケジュール(案)

※4月以降で本格協議

別資料

(3) 各担当の配置・配当表(案)

※4月以降で本格協議

別資料

事務局連絡先

第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会

事務局長 高谷 和生(たかたに かずお)

□〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5

□携帯 090-1513-528

□メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp

□くまもと戦跡ネットHP <https://www.kumamoto-senseki.net/>